

1. 件名 : 核物質管理センター六ヶ所保障措置センターが実施する令和元年度総合訓練の報告内容の確認について

2. 日時 : 令和2年2月7日(金) 16:00 ~ 17:00

3. 場所 : 六ヶ所オフサイトセンター 休憩室

4. 出席者 :

原子力規制庁六ヶ所原子力規制事務所

宮本副所長、木村(直)原子力防災専門官、関原子力運転検査官

公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター

安全管理課 課長代理、他1名

5. 要旨

公益財団法人核物質管理センター六ヶ所保障措置センター(以下「保障措置センター」という。)事業者防災業務計画に基づき同センターが実施した令和元年度総合訓練について、保障措置センター安全管理課担当者から以下のとおり、抽出した問題点及びその対策案の概要の説明を受けた。

- (1) 保障措置センター緊急時対策所の対応において、「発災事象の進展予測、具体的な戦略が立案できなかった。」、「気象情報の収集、提供が適時行われなかった。」等の問題点が確認され、対策として戦略シート及び細部手順等を見直し、教育・要素訓練で効果を確認する。
- (2) 原子力規制庁緊急時対応センター(以下「ERC」という。)対応においては、「放射線状況や施設状況に関わる情報を整理して事象全般を俯瞰した説明ができなかった。」、「設備の説明に適した資料をERCの書架に配置しておらず口頭による説明のみになった。」等の問題点が確認され、対策として発生事象整理シートを改善するとともに、ERC配置資料の適正化を推進する。
- (3) 現場対応において、「現場対応者の内、1名がヘルメット未装着であった。」との問題点が確認され、対策として管理区域用衣服の配備定数の見直しを行う。

原子力規制庁側からは、問題点をできるだけ具体的に記述するとともに、重複する項目を整理するよう要望したほか、次年度は、日本原燃株式会社との連携を検証できるような訓練方法を検討するよう提案した。

6. その他 : 配付資料なし。